

KITAGIN NEWS RELEASE 2024

2024年2月29日

各位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～株式会社技電工業～

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、取引先企業さまのSDGsへの取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎんSDGs経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、株式会社技電工業（代表取締役 菊池 修吾）がSDGs宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後とも当行は、取引先企業の SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会社名	株式会社技電工業
所在地	〒020-0834 岩手県盛岡市永井2地割143番地1
代表者	代表取締役 菊池 修吾
業種	情報通信業

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

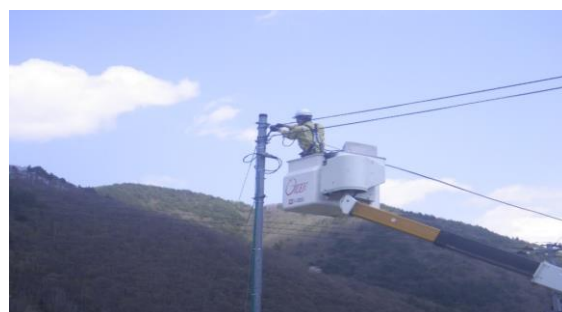
取引先企業さまの SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと (Basic: 基本版)、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定 (Progress: 発展版) をお手伝い致します。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 事業コンサルティング室 (担当: 小瀬川) TEL: 019-626-6529

企業概要



株式会社技電工業

代表取締役 菊池 修吾

(所在地：岩手県盛岡市)

当社について

当社は、岩手県盛岡市に本社を置き、電気通信工事業を主な業務としている企業です。テレビやインターネット、携帯電話など、情報化・IT化の進む現代社会に不可欠な「情報通信インフラ」を整備・構築し、地域の皆様に快適な暮らしを届けております。1970年の創業より『信頼と技術で地域社会に貢献』を信条とし、これからも全社一丸で業務に取り組んで参ります。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	廃棄物の3Rの推進、持続可能な森林資源の利用、製品における資源使用量削減
従業員の働きがい	従業員の体の健康保持、従業員の心の健康保持、休暇の取得奨励
地域社会への貢献	寄付活動、地域とのコミュニケーション、地産・地消の推進
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、BCPの策定、デジタル技術の活用

株式会社技電工業 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2024年2月29日
株式会社技電工業
代表取締役 菊池 修吾

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

業務に伴う環境への影響を認識し、環境負荷低減を目指します。

▼目標・取り組み内容

- ・廃棄物の削減強化、長期利用を考慮した設計・施工
- ・資源利用量の更なる削減、ペーパーレス化の推進
- ・環境配慮型製品の利用

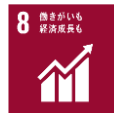


従業員の働きがい

従業員の安全と健康の維持・増進を組織的観点から推進することを以て、健康経営に取り組みます。

▼目標・取り組み内容

- ・健康診断再受診率100%
- ・相談窓口の設置、年1回ストレスチェックの実施
- ・有給休暇取得奨励日の設定、マルチスキル化で休みやすい体制作り



地域社会への貢献

「郷土芸能保存・継承への貢献」と「地産地消の推進」から地域活性化に取り組みます。

▼目標・取り組み内容

- ・郷土芸能や祭典への寄付、スポーツ振興
- ・ゴミ拾い、地域行事への協力
- ・地域特産品の配布



コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンス体制を強化し不正ゼロを継続します。

▼目標・取り組み内容

- ・コンプラ体制の見直し、従業員への周知徹底
- ・災害時等緊急対応体制の見直し強化
- ・デジタル技術の導入による社内体制の整備



【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ「SDGs経営推進プロジェクト」】